

在京 下郷会だより



町の鳥(鶯) 花(ふじ) 木(白樺)

第43号

編集 在京下郷会だより
編集委員会
発行 在京下郷会
事務局 下郷町役場
総合政策課
企画政策係
電話:0241-69-1144
[https:// : wakamatsu.co.jp/zaikyo/](https://wakamatsu.co.jp/zaikyo/)
東京連絡所 倘若松通商
電話:03-5754-3040

新春のご挨拶

在京下郷会

会長 室井軍三



在京下郷会会員の皆様、下郷町民の皆様、明けましておめでとうございます。二〇二〇年の新春を輝かしくお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

昨年の明るい話題として、は吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞されました。スマホ、ノートパソコン、電気自動車等に使用され、高容量で小型軽量の二次電池、リチウムイオン電池の開発により、今後は環境問題に貢献するでしょう。そして安く便利に利用できる、そういうものが実現できる時期にきている、そういうものか、町の議員の皆様、ご検討宜しくお願い致します。

結びに在京下郷会、下郷町の益々の発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしました。新年の挨拶とさせていただきます。

うか。

在京下郷会会員も年々減少し事業資金も逼迫しており、それを補うためには、寄付金をお願いする外、役員、会員、企業の皆様に広告を依頼し、資金を確保していかなくてはなりません。

抜本的対策としての会員増加対策はふるさと懇談会等を通じていろいろ検討しており、少しずつ成果を上げてはおりますが、なかなか追いつきません。皆様、会員増加にご協力のほどよろしくお願い致します。

下郷町も少子高齢化が進み毎年人口が減少しております。ふるさと納税の拡大を図り、その資金で子供手当を大幅に増額する等を行えば、多少なりとも歯止めがかかるのではないのでしょうか、町の議員の皆様、ご検討宜しくお願い致します。

結びに在京下郷会、下郷町の益々の発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしました。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

下郷町長

星 學



新年明けましておめでとうございます。在京下郷会の皆様には、平素よりふるさと発展のため、多大なる応援を賜り厚く感謝申し上げます。

また、昨年開催いたしました「在京下郷の集い」におきましては、総会と交流パーティーを同会場で開催するなど趣向を変えながら、多くの皆様にご参加いただき、改めて御礼申し上げます。また、総会前に開催した「ふるさと懇談会」では、地域おこし協力隊の活動報告からはじまり、在京会役員の皆様から町発展のために貴重なご意見、ご提案を賜り誠にありがとうございました。

さて、本年はまちづくりの指針となる第六次下郷町振興計画のスタートの年であります。令和という新しい時代に入り、時代に合ったさまざまな施策や事業を展開していくこととなりますが、最も重要なのは、未来に向けて強い下郷町をつくり上げていくことだと考えます。そして何より、町民にとってやさしい行政でなければなりません。町民の皆様が、幸せな暮らしを実感できる住みよいまちづくりを継続して進めていくことが、将来に向けての強い下郷町をつくることにつながります。

下郷町民憲章に「自然を愛し美しい町をつくりましょう」「心と体を鍛え健康でたくましい町をつくりましょう」「楽しく働き豊かな町をつくりましょう」「隣人を愛し思いやりのある明るい町をつくりましょう」「生涯をとおして学び文化の町をつくりましょう」とございます。

この町民憲章そして新たな第六次下郷町振興計画を指針とし、町民の皆様と一致団結し、誇り高いまちづくりを進めてまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

結びに、皆様にとって幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭のご挨拶

下郷町議会議長

佐藤 盛雄



下郷町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

在京下郷会の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び喜び申し上げます。また、ふるさと発展のため、温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、お招きいただきました、懇談会では、地域おこし協力隊員二名により、その取組を観光関係、農業関係について報告し、参加した役員の皆様から、暖かいご支援とご指導の言葉をいただきました。また、ふるさと納税については、返礼品のあり方等について貴重なご意見をいただきました。今後とも、室井会長はじめ、皆様には引き続き郷土の発展のためにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、町の近況でございますが、台風十九号による、町道の崩落や、用水路の決壊などの災害が発生しました。幸い人的被害はありませんでしたが、改めて自然の猛威を痛感するとともに、災害に対する常日頃の備えを胸に刻んだ年でもありました。

会津縦貫南道路でございますが、工事は着実に進行し本町における基幹道路として整備促進が図られているところです。

また、ポイントカード「しもごろうカード」の事業では、昨年から、プレミアム商品券をカードに取り入れ、買い物ができるようになり、より利便性が向上したものと思っています。

さて、私たちを取り巻く環境でございますが、少子高齢化・人口減少社会へと急激な進行がみられ、早急な対応が求められています。しかし、その道は決して平坦なものではありません。人口減少に歯止めをかけることはもとより、それを逆手に取り、だからこそ出来るきめの細かい行政サービスを展開し、「幸せな暮らしを実感できるまちづくり」を推進することも肝要かと存じます。

町議会といたしましても、町民の皆様と一体となって、なお一層の努力を傾注してまいりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、在京下郷会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

参議院懲罰委員長

元国土交通大臣政務官

参議院議員 室井邦彦



旧年中は、大変お世話になりましたが、工事は着実に進んでまいりました。また、本年もどうぞよろしくお願い致します。

平成を振り返って、わが国の社会の変化

について見ると、人口減少・少子高齢化といった問題があります。全ての団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年、高齢者人口がピークとなる二〇四〇年代を見据えつつ、誰もが安心して活躍できる人生一〇〇年時代を築き上げなければなりません。また情報通信技術や超スマート社会につながる人工知能などについては、グローバル化とともに急速な進展を遂げ、自動走行、遠隔医療、ドローン宅配など、デジタル新技術が地方の経済・社会構造を大きく変えつつあります。

そして、地球温暖化の影響は、風水害を多発化、激甚化させ、災害が多様化する中、災害多発の原因となっている気候変動に対する脱炭素社会への実現と想定外の災害に対応した防災意識社会への転換が喫緊の課題であります。

他方、日本人の感性の特徴として、心の豊かさやゆとりある生活をすることに重きをおく傾向があります。地方の時代と叫ばれた一九七〇年代後半以降、心の豊かさを重視した生き方を望む人が多いことが、内閣府の「国民生活に関する世論調査」で明らかとなっております。

令和の新時代は、わが国の経済・社会構造の大きな変化を予見させ、地方のあり方も新たな可能性を模索していく必要があります。

在京下郷会の皆様と一緒に、ふるさとを魅了を継承し、ふるさと再生に向け活動していくことをお誓いし、年頭にあらたな祝辞といたします。

電子部品の専門店

ELECTRONICS

https://wakamatsu.co.jp/waka/
E-mail waka@wakamatsu-net.com

本社 TEL03-3251-4121 FAX03-3257-0086 Net通販 03-5754-6040 FAX03-3748-6102
会津営業所 0242-24-2868 FAX0242-24-2683



株式会社 若松通商 代表取締役 室井 軍三

第 29 回 在京下郷の集い

第二十九回「在京下郷の集い」は、昨年の十月二十六日、東京都荒川区日暮里の「ホテルラングウッド」において、在京学会員、下郷町より星學町長はじめ百二十七名という多数のご参加を賜り盛大に開催することができました。

一 ふるさと懇談会

副会長（刘林） 高橋 千代丸

午前九時三十分「丹頂の間」において、星學町長、佐藤盛雄町議会議長及び議員・町関係者十九名、在京会から室井会長以下二十一名、総勢四十名の出席のもと、事務局長の玉川武之総合政策課長の司会で開催された。議長は、室井軍三会長が務めた。

◆星 學町長のご挨拶

- ・在京会の事務局は、本年四月に新設された「総合政策課」が執り行っている。
- ・台風十九号ではかなりの降雨があったが下郷町では大きな被害はなかった。
- ・現在、会津縦貫南道路の湯野上及び小沼崎バイパスの工事が着々と進んでいる。
- ・この道路が完成すれば素晴らしい皆様のおふるさととなる。
- ・昨年までいなかった地域おこし協力隊員に「市村」「森田」の二人の女性が今年二月から加わった。下郷町にない感性で下郷のよさを発信していただくよう活動してもらっている。
- ・今日の懇談会のテーマ、「在京下郷会の現状と今後の取組について」及び「ふるさと納税」について、役員、町議会議員の皆様の忌憚のないご意見をいただき、町政に反映して行きたい。

◆室井軍三会長の挨拶

- ・大川公園へのしだれ桜の植樹、下郷町での十稔の生産増加など過去十余年のふるさと懇談会での提案の事例紹介
- ・ふるさと納税促進のための対策提案
- ・ふるさと懇談会はこの場で結論を出すのではなく、懇談した課題を町に持ち帰り議員の方々や役場の方々との再度話し合っていたいただきたい。

①下郷町地域おこし

協力隊の活動報告

- ◆会津若松市生まれで茨城県笠間市育ちの市村春絵氏が次の活動を紹介した。
- ・任務としての「オンラインガルトン下郷」の運営補助や芦ノ原の「棚田オーナー」への参加等、町内の農業振興活動
- ・地域おこし協力隊になった経緯及びなぜ農業に関する活動を選んだか。
- ・下郷町のいいところ、気になった点。
- ・町のこれからの展望

◆茨城県古河市育ちの森田愛理氏が次の活動を紹介した。

- ・下郷町に来た理由及び空家に興味を持ったきっかけ
- ・空家対策活動の事例

①モットーは空家を活用し町民の方と町外の方をつなぐこと。

②空家・移住に関してアンケートを実施し、空家の供給状態、町の支援策、移住者の意識調査、居住施設維持管理のポイント等事業環境の現状把握を行った。

・実体験として、「子供を生みやすいまち」にしたい、「子供が住みやすいまち」にしたいという事の重要性を学んだ。

②在京下郷会の現状と今後の課題

◆芳賀公幹理事長が「在京下郷会の現状と課題」として、厳しい状況にある在京下郷会の財政状態及び会員の減少状態を、パワーポイントを用いて説明した。詳細は十四ページの記事欄に示しているが要点は次の通りである。

- ①会の運営コストの大部分を占める機関紙「在京下郷会だより」の事業内容
- ②会員数、入退会者数の推移
- ③事業費の構成

③ふるさと納税について

◆室井初男副会長がふるさと納税の拡大対策として、返礼品に関して次の課題提案を行った。

- ・現在の返礼品は、品数・数量に魅力が少なく、サイトの写真も迫力に乏しい。このため、町出身者以外には誘導が難しい。また、賞味期限切れの苦情もあり品質保証体制の確立が望まれる。
- ・右の対策として①返礼品を既存のセット構成に加え、単品構成を導入し、品数・数量に対する要請に応える。②生産者からの直送による品質保証体制を検討したかどうか。例えば、ヨーグルトは、十〜三十個、お米は十〜三十kgなど。
- ・三十%ルールに対しては、「お任せ納税」から補填することの検討はどうでしょうか。



芳賀公幹理事長



市村春絵氏



森田愛理氏



パワーポイントによる説明

二 第二十九回定期総会

副会長 (刈林) 高橋 千代丸

午前十一時四十五分より二階「鳳凰の間」において定期総会が開催され、玉川武之在京下郷会事務局長(総合政策課長)の司会により、高橋千代丸副会長の開会の宣言、参加者全員による下郷町民の歌「飛躍の明日へ」の斉唱、続いて、主催者側を代表し室井軍三会長が挨拶を行った。

◆室井軍三会長の挨拶

- ・ 昨年の定期総会では右足手術のために欠席したことのお詫び。
- ・ 今回は、総会会場とパーティー会場を同じ場所で行うこととした結果、総会への出席者は昨年の十名以下に対して八十名以上になったことに対するお礼。
- ・ 来年は在京下郷会三十周年となるので、記念誌発行や記念事業の実施を計画している。ご寄稿や寄付へのご協力をお願いいたします。

一、祝辞

次の方々から祝辞を頂いた。

◆星學町長の祝辞

- ・ 本町を取り巻く状況は大変厳しく、人口減少や少子高齢化の加速化が進み、町づくりにおいては地域構造の変化を見極め、その施策も臨機応変に対処しなければ

ならない状況となっている。さらに未来のために強い下郷町を創造するため、町民目線のきめ細かな行政の推進を今後とも目指していきたい。

- ・ 町では本年、「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち下郷」を目標に掲げた第五次振興計画の最終年である五年目を迎え、現在、第六次町振興計画策定に向け、町民からの意見を基に進めている。
- ・ 平成二十七年度に「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「下郷町人口ビジョン及びひと・しごと創生総合戦略」をもとに雇用創出や、交流人口の増加を目的とした町の活性化のための各種施策を展開している。

◆佐藤盛雄町議会議長の祝辞

- ・ 下郷町も本格的な人口減少社会が到来し、少子高齢化や過疎化が進行し、活力が低下するなど、様々な問題に直面している。
- ・ 国道二八九号甲子道路の南倉沢トンネルを含む二キロが開通し、冬期間の交通危険個所が解消された。
- ・ 会津地方を南北に結び、高速交通の要となる地域高規格道路「会津縦貫南道路」の、本町区間の整備が進められている。
- ・ これら道路網の整備は、観光はもとより、ビジネス、地域づくりにとって大きな好機となるものである。
- ・ 今後も、「愛郷の念」をお持ちの在京下郷

会の皆様方の温かいご支援を仰ぎながら、さらに豊かで、住みよい郷土づくりに邁進していく所存である。

二、来賓紹介

玉川武之事務局長及び渡部清一町議会議長が来賓を紹介した。

- ・ 下郷町長 星 學 様
- ・ 町議会議長 佐藤 盛雄 様
- ・ 町議会議員一同 様
- ・ 町関係者 様

三、審議

室井軍三会長が議長になり次の議事を審議し承認可決された。それぞれの概要を十一、十二ページに示す。

- (1) 報告第一号 平成三十年度在京下郷会 事業報告
 - (2) 報告第二号 平成三十年度在京下郷会 収支決算報告
 - (3) 報告第三号 平成三十年度在京下郷会 基金会計収支決算報告
 - (4) 議案第一号 在京下郷会会則の改正(案)
 - (5) 議案第二号 令和元年度在京下郷会事業計画(案)
 - (6) 議案第三号 令和元年度在京下郷会収支予算(案)
 - (7) 議案第四号 役員を選出
- 最後に芳賀公幹事務長が閉会の宣言を行って会は終了した。



祝辞 佐藤盛雄町議会議長



祝辞 星學町長



主催者挨拶 室井軍三会長



参加者全員による下郷町民の歌の斉唱



開会 高橋千代丸副会長

三交流パーティー

幹事長 (沼尾) 芳賀 公

午後一時から二階「鳳凰の間」で芳賀公幹事長・天谷君代の司会により交流パーティーが開催された。本年の参加者は昨年より十人多い百二十七人(会員五十五、一般十九、町民八、来賓十三、町・議会等三十二)が参加し盛大に開催することができた。本年は総会と交流パーティーを同一会場で実施し、昨年同様「芳賀順子」様(塩生出身)による郷土芸能「下郷大黒舞」で始まった。

(1) 祝辞

次の方からご祝辞をいただいた。

- ・ 衆議院議員 菅家一郎 様
- ・ 参議院議員 室井邦彦 様
- (2) 来賓紹介

町長・国会議員・町議員・一般招待者二十五名を紹介した。

(3) 乾杯

中野善次顧問の発声で行った。

(4) 初参加者紹介

交流パーティーに初めて参加した十三名を紹介した。

(5) アトラクション

町からの提供で演歌歌手「春奈かおり」様が華やかさと力強い歌唱力でパーティーを盛り上げた。

(6) おたのしみ大抽選会

賞品は町から下郷町長賞、下郷町議会賞、賞、ふるさと賞十本の計十二本。在京

下郷会からは三本、(株)若松通商から三本の寄贈があった。

下郷町からの寄贈は地元の特産品詰合せ、在京会・(株)若松通商賞はDVDラジカセ・DVD、ワンセグ付テレビ。毎年豪華な賞品を寄贈していただきありがとうございます。

(7) 盆踊り

ふるさとを思い出しながら「会津磐梯山」を会場狭しと踊った。大勢が参加し会場は大いに盛り上がった。ありがとうございます。

(8) 合唱

「ああ上野駅」を長沼種臣顧問の指揮で斉唱した。

(9) 中締め

大竹力夫副幹事長が交流パーティー参加者の健康とご多幸を祈念して三本締めで締めた。

(10) 閉会のことば

星洋武副幹事長が参加者へのお礼と来年の参加を懇請し閉会の挨拶とした。

◎ 記念撮影

星學町長と在京会役員が入り江川・榎原・旭田の順で記念撮影を行った。

◎ 御礼

星學町長はじめ参加された皆様のご協力により大盛会に終了することができました。ありがとうございます。来年は在京下郷会設立三十周年になります。新企画を加えさらに充実した在京下郷の集いにしたいと考えていますので、今後ともご指導ご鞭撻よろしく願います。



天然温泉
会津湯野上温泉
つるや旅館

“また来たい” そうおっしゃっていただける宿

969-5206 福島県南会津郡下郷町湯野上字居平乙752

☎0241-68-2146・fax0241-68-2647

4000坪もの自然林に囲まれた一軒宿



969-5201 福島県南会津郡下郷町高崎字寄神乙1614

TEL0241-68-2266/FAX0241-68-2269

自然素材の家

株式会社

志次

E-mail : sanyo-h@proof.ocn.ne.jp

〒969-6214 大沼郡会津美里町富川字向川原中ノ切乙1446-1

TEL 0242-54-3321

FAX 0242-54-3323

代表取締役社長

星 正邦 (成岡)

第 29 回 在京下郷の集い (交流パーティー)
 挨拶、祝辞、大黒舞 (芳賀順子様)、合唱、初参加者紹介、
 アトラクション (春奈かおり)、大抽選会、カラオケ、盆踊り



司会
芳賀公幹 幹事長・天谷君代氏



祝辞：室井邦彦
参議院議員



祝辞：菅家一郎
衆議院議員



乾杯
中野善次顧問



開会
室井初男副会長



大黒舞
芳賀順子様 (塩生出身)



春奈かおりさん



アトラクションは春奈かおりさん



春奈かおりさん

指定テーブルでの懇談



A 江川会員・当日会員、町民、議員、役員



B 来賓、教育長、役員



C 来賓、町長、議長



D 楢原会員・町民、議員、町職員、役員



E 同級会 (江川会員・江川町民)



F 同級会 (榑原会員・当日会員、役員)



G 榑原会員・当日会員、役員



H 江川会員・当日会員、役員



K 榑原会員、議員、役員



J 旭田議員、榑原町民、議員、地域おこし協力隊、役員



春奈かおり
さん
テーブル
めぐり

春奈かおりさん



L 同級会 (榑原会員、当日会員)、町長、議員、役員



M 旭田会員、議員、役員



N 町職員

大抽選会、盆踊り、カラオケ、ふるさと舞踏



大抽選会：町長賞受賞者



大抽選会：議長賞受賞者



大抽選会：若松通商賞受賞者



春奈かおりさん一問合一



大抽選会：在京下郷会賞受賞者



盆踊りは前回に続く会津磐梯山 ♪ エンヤ〜会津磐梯山は宝の山よ・・・ ♪



閉会の挨拶
大竹力男副幹事長



のど自慢大会：室井房子さん（落合）と湯田恒弥さん（榎原）



ふるさと舞踏：芳賀順子さん
（塩生出身）



全員の集合写真



江川地区集合写真



楢原地区集合写真



旭田地区集合写真

四．総会資料（順不同）

報告第 1 号 平成 3 0 年度在京下郷会事業報告

No.	事業名 (年 月 日)	場所及び事業内容	出席者
1	第 40 回秋のハイキング (2018.9.15)	場所：葛西臨海公園 内容：園内散策及び葛西臨海水族館鑑賞	羽染担当幹事 外役員 会員、一般 17名
2	在京下郷会 臨時役員会 (2018.10.6)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 28 回在京下郷の集いについて	室井会長 外役員 19名
3	在京下郷会 三役会議 (2018.10.10)	場所：大田区 室井軍三宅 内容：第 28 回在京下郷の集いについて	室井会長 外役員 5名
4	第 28 回 在京下郷の集い (2018.10.27)	場所：荒川区 ホテルラングウッド 内容：ふるさと懇談会、定期総会、交流パーティー	合 計 117名
5	まるごと南会津観光 PR フェア (2018.11.17～11.18)	場所：台東区 上野恩賜公園 内容：観光 PR フェア	芳賀幹事長 外役員、会員 14名
6	在京下郷会 臨時役員会 (2018.12.22)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 28 回在京下郷の集い及び秋の親睦ハイキングを顧みて、 会報 42 号の編集方針について 他	室井会長 外役員 16名
7	在京下郷会だより編集委員会 (2019.1.13)	場所：大田区 室井軍三宅 内容：在京下郷会だより 42 号校正	高橋編集委員長、 外役員 5名
8	在京下郷会 臨時役員会 (2019.2.9)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 29 回在京下郷の集い、会報 42 号を顧みて、令和 1 年春 の親睦ハイキングについて	室井会長 外役員 21名
9	第 41 回春の親睦ハイキング (2019.3.31)	場所：墨田区 亀戸中央公園 内容：観桜会	羽染担当幹事 外役員 会員、一般 20名
10	在京下郷会 臨時役員会 (2019.6.22)	場所：台東区 上野精養軒 内容：在京下郷会創立 30 周年記念事業について 春の親睦ハイ キングを顧みて 他	室井会長 外役員 20名
11	ふるさと南会津会総会 (2019.6.23)	場所：文京区 東京ガーデンパレス 内容：総会及び交流パーティー	室井会長 外 1名
12	在京下郷会常任委員会・納涼懇親会 (2019.8.3)	場所：台東区 上野精養軒 内容：第 29 回在京下郷の集い・創立 30 周年記念事業について、 納涼懇親会	室井会長 外役員 会員、一般 16名
13	下郷町観光キャンペーン (2019.9.28)	場所：台東区 谷中銀座 内容：イベント協力	高橋副会長 外役員 6名

議案第 2 号 令和元年度在京下郷会事業計画（案）

1. ふるさと下郷の主要な年間行事、各種イベント等に参加協力協賛するとともに、相互の情報交換を密にし、下郷町の発展に寄与する。
2. 会員の拡大と組織強化、会活動の再構築に資する活動を展開する。
3. 本会の活動状況やふるさと情報等に根ざし、会員の共通意識を醸成させるため会報「在京下郷会だより」を発行する。
4. ふるさと下郷町内において、在京下郷会加入を促す。
5. 他のふるさと会との懇親を深め、会目的達成の先進事例等研鑽に努める。
6. その他、会則第 3 条の目的を達成する事業を役員会、部会等で具体化し事業を実施する。

◎主催事業

1	会報の発行	会報「在京下郷会だより」の発行 時期：令和 2 年 1 月下旬～2 月上旬
2	町広報紙の送付	「広報しもごう」の毎月送付 町内イベントや首都圏イベントの情報発信
3	第 3 0 回在京下郷の集い	日程：令和 2 年 1 0 月 3 1 日（土） 場所：東京都荒川区 ホテルラングウッド 内容：・ふるさと懇談会 ・定期総会 ・3 0 周年記念交流パーティー
4	観光 PR 及び物産品販売協力	首都圏での観光 PR 活動及び各種イベントでの販売協力等
5	会の組織強化と振興活動	新規会員の募集活動 親睦ハイキング 観桜会、紅葉観賞会等

議案第 4 号 役員を選出
改選後の在京下郷会役員名簿 (任期) H30 年 11 月～令和 2 年 10 月

役職名	氏名	出身地	備考	役職名	氏名	出身地	備考
顧問 (2名)	中野 善次	刈 林		幹 事	星 善徳	刈 林	
	長沼 種臣	弥五島			佐藤 清美	檜 原	
会長	室井 軍三	小 池			湯田 義朗	檜 原	
副会長 (2名)	高橋千代丸	刈 林			渡部 佐吉	姫 川	新 任
	室井 初男	十文字			湯田 省三	三ツ井	新 任
幹事長	芳賀 公	沼 尾			会 計 (3名)	星 洋武	新 開
副幹事長 (4名)	櫻木 博	落 合		前田 恵子		倉 水	
	大竹 力夫	落 合		羽染 作太		三ツ井	
	星 洋武	新 開		監 査 (3名)	大竹 虎雄	三ツ井	
	小山 博義	塩 生			佐藤ヤスノ	檜 原	
幹 事 (11名)	佐藤 俱子	湯野上		事務局長	芳賀 清喜	沼 尾	
	佐藤 隆志	大 内			玉川 武之	塩 生	総合政策課長
	仲島 昭義	姫 川		事務局 (2名)	芳賀 和也	弥五島	商工観光係長
	佐藤 順昭	弥五島			吉村 拓人	大 内	企画政策係長
	佐藤 文章	刈 林					
	佐藤 学	小松川					

報告第 3 号

平成 3 0 年度基金会計収支決算

預 入 先	東 邦 銀 行 会津下郷支店
口座名義人	在京下郷会基金会計 事務局長 玉川 武之
積立額	100,000 円
利 息	平成 30 年度 2 円
預金現在高	401,274 円

議案第 3 号 令和元年度在京下郷会収支予算(案)

自 令和元年 9 月 1 日
至 令和 2 年 8 月 3 1 日

○収入の部 (単位: 円)				
科目	前年度 決算額(A)	本年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	適 用
前期繰越金	369,829	456,987	87,158	
会費	206,000	152,000	54,000	年会費@2,000円×76件
寄付金	139,894	48,000	91,894	集い商品代(役員)
雑収入	86,002	83,013	2,989	在京下郷会だより広告料、預金利息等
繰入金	0	0	0	
合 計	801,725	740,000	61,725	
○支出の部 (単位: 円)				
科目	前年度 決算額(A)	本年度 予算額(B)	比較増減 (B-A)	適 用
会議費	11,000	20,000	9,000	役員会、集い打合せ等経費
事務費	50,160	50,000	160	資料作成費、送料等
旅費	4,864	10,000	5,136	各種会議等交通費
交際費	14,950	30,000	15,050	総会等会費、交流パーティー参加費
事業費	163,764	300,000	136,236	在京下郷会だより印刷物代、集い経費等
繰出金	100,000	0	100,000	
次期繰越金	456,987	330,000	126,987	次年度へ繰越し
合 計	801,725	740,000	61,725	

監 査 報 告 書

令和元年 10 月 5 日、在京下郷会の平成 30 年度収支決算について監査した結果、関係諸帳簿は整備されており、適正と認めます。

令和元年 10 月 26 日

監 査 大竹 虎雄

監 査 佐藤 ヤスノ

監 査 芳賀 清喜

報告第 2 号 平成 3 0 年度在京下郷会収支決算

自 平成 3 0 年 9 月 1 日
至 令和元年 8 月 3 1 日

○収入の部 (単位: 円)				
科目	30年度 予算額(A)	30年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	摘 要
前期繰越金	369,829	369,829	0	前年度より繰越し
会費	165,000	206,000	41,000	現年度分(76件) 152,000円 過年度分(75件) 30,000円 翌年度分(2件) 4,000円 終身分(1件) 20,000円
寄付金	50,000	139,894	89,894	集い商品代(役員)、親睦会時寄付
雑収入	90,171	86,002	4,169	在京下郷会だより広告料等
繰入金	0	0	0	
合 計	675,000	801,725	126,725	
○支出の部 (単位: 円)				
科目	30年度 予算額(A)	30年度 決算額(B)	不用額 (A-B)	摘 要
会議費	20,000	11,000	9,000	役員会、集い打合せ経費等
事務費	30,000	50,160	20,160	資料作成代、送料等
旅費	20,000	4,864	15,136	各種会議等交通費
交際費	20,000	14,950	5,050	総会等会費、交流パーティー参加費
事業費	300,000	163,764	136,236	在京下郷会だより印刷物代、集い経費等
繰出金	100,000	100,000	0	
次期繰越金	185,000	456,987	271,987	次年度へ繰越し
合 計	675,000	801,725	126,725	

議案第 1 号 在京下郷会会則の改正について：在京下郷会会則について、下記の通り改正します。

令和元年 10 月 26 日 在京下郷会長 室井 軍三 記

改正前	改正後
(事務所) 第 4 条 本会の事務所は、下郷町産業課におき、東京に連絡所を置く。	(事務所) 第 4 条 本会の事務所は、下郷町総合政策課に置き、東京に連絡所を置く。
	(附則) この会則は、令和元年 10 月 26 日から施行し、令和元年度より適用する。

下郷町建設組合では 在京下郷会の皆様を 応援しています。

各組合員の代表者の御名前を掲出しております

(有) 白川工業所 白川浩主	(有) 佐藤土建 佐藤幸二	(株) しもこう 環境サービス 齋藤 理	(有) 玉川水道 玉川修一	(有) 新英工業 渡部正広	(有) 佐藤建設 佐藤洋子	(株) 山田組 山田政敏	五十嵐建設(株) 五十嵐博幸	(株) 渡部工務所 渡部芳徳	渡部土木工業(株) 渡部政昭	三立土建(株) 浅沼秀俊
(有) 佐藤測地 佐藤 勤	(株) コウナン 渡部由嗣	田島測量(株) 湯田敦雄	(株) ダイエツ 大塚修一	(株) 会津技術 コンサルタント 浅沼伊興吉	室井電業 室井幸治	(有) 大栄電気 湯田栄二	南総建(株) 田島事業所 渡部 勝	三立道路(株) 田島支店 船木清美	湯田グリーン(株) 湯田マツヨ	(有) 星忠工業所 星 忠勝
順不同により掲載 令和元年十一月一日現在		(有) 星光園 星 秀隆	(有) ホシ造形 星 孝二	(有) 露崎板金工業 露崎 充	(有) 宮本屋 星 竹美	宮田建築 弓田勝二	(有) マルヨ建匠 渡部 一	(有) 高橋プラマー 高橋英博	(有) 渡部盛美商店 渡部美代子	(有) 小椋設備工業 小椋喜美雄

グルメ・ドリンク・カラオケ ニューキプロス



千代田区外神田6-6-9 TEL 03-3831-5030
稲田 光彦 (会津坂下町出身) 在京下郷会推薦・特割有

■宿泊 ■宴会
■婚礼 ■レストラン



JR・京成線日暮里駅南口徒歩 1 分
HOTEL LUNGWOOD
ホテル ラングウッド
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5
TEL 03 (3803) 1234(代) <http://www.hotellungwood.com>

在京下郷会
会長 **室井 甲三**
(小池)

狭山の
白いじゅうたん
そばの花

在京下郷会
顧問 **長沼 種臣**
(赤五島)

在京下郷会
顧問 **中野 善次**
(刈林)

在京下郷会
幹事長 **芳賀 公**
(沼尾)

わがささの湖
湖底に映る
沼尾村

在京下郷会
副会長 **室井 初男**
(十文字)

在京下郷会
副会長 **高橋千代丸**
(刈林)

在京下郷会
副幹事長 **星 洋武**
(新開)

やま桜らと
清流の郷

在京下郷会
副幹事長 **大竹 力夫**
(落合)

在京下郷会
副幹事長 **櫻木 博**
(落合)

在京下郷会
会計 **羽染 作太**
(三ツ井)

在京下郷会
会計 **前田 恵子**
(倉水)

在京下郷会
副幹事長 **小山 博義**
(指生)

在京下郷会の現況と
今後の課題について

幹事長(沼尾) 芳賀 公

今回の「ふるさと懇談会」では、在京下郷会が直面している課題をテーマに町との忌憚のない意見交換を行ったので以下にその課題の内容を示す。

(1) 在京会の事業計画

主な事業活動を説明した。

①「在京下郷会だより」の発行。これは会員及び下郷町に情報を発信するもので、二千五百部を作成し会員、下郷町の全戸に配布している。

②東京近郊での観光PR、物産展への応援活動。

③春・秋の親睦ハイキング。これ等を通じて会員相互の融和と親睦を図っている。

(2) 会員の退会及び入会状況

平成十四年以前は会員が五百二十人ほどおりましたがその後毎年減少し続け、現在は二百三十二人と全盛期の半分以下となっている。会員の内訳は、一般会員が百五人(四十五%)、七十歳以上の終身会員が百二十七人(五十五%)である。

すなわち、全会員の約六割が終身会員で

会員の高齢化が進んでいる。退会者はここ三年間で二十八人、入会者は十二人である。昨年度は八人入会しましたが過去の入会者は毎年約一人程度である。

(3) 事業資金関係

在京会の事業資金は会員の年会費及び企業・役員との広告費、並びに役員からの寄付で運営されている。二百三十二人の会員のうち会費納入のない終身会員が百二十七人(五十五%)おり、会費収入は百五人である。

しかるに、昨年度は会費未納者が二十九人(二十八%)おり、年会費収入は会員七十六人(七十二%)分でした。年会費の収入は事業活動費の約半分、残り半分は役員が企業広告を募り、又役員から名刺広告代、寄付をいただき事業資金としている。このような財政状況から昨年度の「在京下郷会だより」はモノクロで発行した。

(4) 今後の課題

会員の高齢化と減少傾向の中で安定した事業資金を確保するため、新規会員の募集と企業広告費の獲得が喫緊の課題である。これ以外では当懇談会において在京下郷会に対する資金面での援助を下郷町に働きかけを行っている。

(5) 懇談内容

室井軍三議長が上記発表について町議員に意見を求めた。

《室井亜男議員》…①町民を交流パーティーに集め、参加した町民を在京会の準会員として位置付け、この準会員を通じて新規会員の募集に繋げてはどうか。②在京会への資金援助はふるさと納税からではどうか。在京会ではふるさと納税額の増加方策を考えてほしい。

《山名田議員》…四十、五十代の入会は難しい。交流パーティーが選歴を過ぎた我々時代の年一回の同級会の場となっている。この同級会等を通じて新規会員の募集に繋げてはどうか。

《星學町長》…ふるさと納税の資金で中学校に電子黒板を購入した。下郷町で育て下郷町のためにふるさと納税をいただいている。このふるさと納税を在京会が永遠に継続していけるよう活動費として計上してはどうか。

《玉川議員》…在京会の活動内容は当地域おこし協力隊の活動と同じ趣旨と考えている。今後在京会と地域おこし協力隊をリンクさせた活動を行うことで町の活動資金を活用できるのではないか。

南会津まるごと観光
PRフェアに参加して

副会長(刈林) 高橋 千代丸

昨年十一月十七、十八日の二日間、台東区上野恩賜公園において、「まるごと南会津観光PRフェア」が盛大に開催された。在京下郷会では、このような下郷町が出店する観光イベントにおいて、町の出店コーナーに少しでも賑やかさをもたらすことが出来ればと二日間にわたって代わり番に参加した。以下第一日目の状況を紹介する。

この日は快晴の小春日和に恵まれ、家族連れや仲間同士、外国人観光客等で開幕、一時間後にはイベント広場の椅子やテーブルはほぼ埋まった。出展者は南会津郡の三町一村で、南会津町の力の入れ方が際立っており、物産販売ブースの七割程度を占めるほどの勢いであった。

我が下郷町は面積的には一番小さい感じであったが、場所的には正面ステージの近くという利点を生かし、下郷ならではの地場物産の販売に徹しており、「いぶし銀」的な印象を強くした。加えて、正面入口では町民の皆様が次々と来場する訪問者に対しては、下郷から持参した足湯サービスを提供していたことから下郷町の知名度の

PR 効果は十分であったと考える。さらに、正面ステージでのキャラクター「しもごころ」による町の観光紹介では、福やかに舞い出した恒例の「大黒舞（佐藤勇平様）」の打ち出の小槌から振り出す「宝物」は大人気であった。率先垂範の星學町長と佐藤盛雄町議会議長の歯切れの良い PR 挨拶や佐藤勇平様の大黒舞、大変有り難うございました。

しかしながら今回は、下郷町の飲食ブースコーナーが少なかつたのは少し残念でした。他の二町一村が大々的に飲食ブースを設けていたことから、特に感じたことである。快晴の好天であったため、もし飲食ブースが少しでもあれば「のぞき見・立寄り客」を長い時間引き留めておくことが可能だと思います。来年のご検討を期待するところです。それでもなお、下郷ブースの物は順調に売れているようで、自分たちもかなりの物品を買い込んで、退場した。



下郷町ブース前で
星學町長、佐藤勇平大黒様と役員

在京下郷会顧問
星 定雄様を偲んで

顧問（刈林） 中野 善次

在京下郷会を代表し、謹んでご霊前にお別れのことばを申し上げます。

昨年五月十五日の夕方、奥様から、星定雄顧問がお亡くなりになったとの悲報を受けました。病院にて療養中でありました。お会いできるものと信じておりました。それがかなわなくなってしまうとは思っておりませんでした。まことに痛恨のきわみであります。

昨年二月九日、上野精養軒で開催した在京下郷会役員会では、星定雄様には久しぶりの出席で、そのお元気なお姿に接することができ、約二時間の会議の間中、いつもと変わらない態度でお付き合いを頂きました。会議の後の懇親会には体のことを考えられ、迎えの車で帰宅されました。

この役員会では、はじめは、体調不良のため欠席とのことでしたが、奥様にどうしても出席したいと話をされての出席であったようです。

昨年一月には私が毎年お送りしている「卓上カレンダー」のお礼の電話があり、

その時、二月九日の役員会には「胃がん」の治療に「抗がん剤」を使用しているのが体がだるくなり横になっていることが多いため出席できるかどうか心配とのことでした。

定雄様は、昨年正月頃からは、役員会や下郷町のイベントの都度、参加、不参加の連絡や健康状態を話してくださるなど、在京会の活動への強い思いが感じられるようになりました。

定雄様は、平成三年十一月九日の在京下郷会発足時に、下郷町小野の集落を代表し役員に就任されて以来、二十有余年の永きにわたりその卓越した見識をもって、主に副会長の要職を全うされました。常に、寛大かつ謙虚にご指導を賜りました。

定雄様は、経済状態の悪い時代に上京され、幾多の困難にもめげず、特に測量関係に従事し、素晴らしい功績をあげておられます。在京下郷会役員一同は、定雄様のご期待に応えることができるよう一層の努力をする所存です。

ここに、謹んで在京下郷会への数々のご尽力に対し、敬意と感謝を申し上げます。ご生前のお元気なお姿を偲び、安らかなご冥福をお祈りいたします。ありがとうございました。さようなら。

第四十二回「春の親睦ハイキング」
桜満開の亀戸中央公園

担当幹事
会計（三ツ井） 羽染 作太

第四十二回在京下郷会親睦ハイキングは三月三十一日（日曜日）東武鉄道亀戸駅改札口前に十時集合する。挨拶をかわし高橋千代丸さんより歓迎の挨拶があり、前田恵子さん、星洋武さんが会費を徴収する。十時十三分の予定の電車に乗り込む。二分で着きますので乗り越しをしないで欲しいと問いかけても話に夢中の中、二分で亀戸水神駅に到着するが、全員が下車するかが気がでない。

改札を出てコンビニで足りないものを購入、十時三十五分に散策開始をする。環八通りの信号を渡りA地区へ入ると桜が満開、家族連れが花見を楽しんでいる。「これではおながか空かないよ」との声が・・・ご心配なくB地区、C地区を散策しますの十分歩いたいただきます。

B地区へ入り大きく迂回しながら旧中川の土手に着く。懇親会・食事場所を物色するが、川べりは風が寒く感じるため、芝生の広場へシートを敷き会場とする。湯田春江さんに荷物の番をしていただき、皆さんは総武線の下を通りC地区へ、さらに江東区と江戸川区を結ぶ「ふれあい橋」から観

る、黄色のレンギョウの花、東京スカイツリーの眺望は格別です。旧中川べりを散策、大勢の人が乗り掛け声をかける二艘のボート練習風景は壮観。特にびっくりしたのは八十歳の女性たちが一人で（カヤック・カヌー）に乗る元気な姿には驚いた。

懇親会の会場に戻るとすでに始めた方、早速芳賀公さんの乾杯の発声で楽しい交流会の始まり（十一時三十五分から十三時二十分）。いつもながら女性たちのご馳走には男たちは頭が上がりません。からし菜の料理は久しぶりに頂きました。

安心しての会津弁での会話は楽しいものです。方言の話では「こわい」は孫たちには理解できない（笑われる）。長年総武線を利用していたがこんなに大きな公園があることを知らなかった。あつと言う間の時間、後片付けを済ませ、ごみ類をコンビニで引き取ってもらい感謝します。

亀戸駅に戻り、慰労会（二次会「庄や」での二時間も、いつもながら楽しい時間でした。室井初男さんのお孫さん・小学五年生の室井麻利亜さんが参加され、平均年齢を押し下げてくださいました。

◆一口メモ

亀戸中央公園：開園日一九八〇年（昭和五十五年）六月一日、面積：十万三千二十六、七〇㎡、所在地：江東区亀戸八丁目・九丁目、日立製作所亀戸工場の跡地を都が整備。公園内には「サザンカ」五十種・四千本植樹されています。冬の間楽しめます。



在京下郷会 春の親睦ハイキング 亀戸中央公園 芝生広場にて H31.3.31

建設業

株式会社 共栄企画
代表取締役 芳賀 進
(沼尾出身)

- 一級建築士
- 一級土木施工管理技士
- 一級建築施工管理技士
- 建災防埼玉支部技能講習講師

〒349-0141
住所 埼玉県蓮田市西新宿 3-106-5
TEL/FAX 048-769-2774
携帯 090-1701-8066
E-M s.haga-kyouei.k@jcom.zaq.ne.jp
ssm.hg2081@gmail.com

株式会社 Creative Egg



イベント企画・制作
テレビ番組・ラジオ番組
DVD 制作

代表 桜木 知代

渋谷 Office 〒150-0042 東京都渋谷区
宇田川町2-1 渋谷ホームズ 1111
☎03-6452-5711 ☎090-1808-5060
那覇 Office 〒900-0036 沖縄県那覇市
西1-14-4 玉木マンション 1-B
✉komatsu@creative-egg.co.jp

第四十三回秋の親睦ハイキング
都立小金井公園

担当幹事 会計 (三ツ井)

羽染 作太

一、日時：二〇一九年十一月九日 (土)
一、場所：都立小金井公園

当日は西武新宿線・花小金井駅に十時集合し簡単に一日の行動計画が説明され十時十分に出発する。小金井街道を小金井公園西口まで約一、五kmを歩き、公園に入ると大勢の家族連れが弁当を食べている。そこを横目に見ながら桜の木々の間を通り十一時に「江戸東京たてもの園」に入る。

入園券を購入(六十五歳以上二百円)、本日のボランティアガイドの橋爪さんと打ち合わせをして、西ゾーンから説明を受ける。三井八郎右衛門邸(財閥)、港区西麻布に一九五二年(昭和二十七年)立てられた邸宅。豪華さに驚く。吉野家(農家)、江戸時代の名主役を務めた家といわれ式台付きの玄関や(付書院)奥座敷に格式を感じる。囲炉裏には薪・炭がたかれ心が和む。「かまじや唐箕とうみ」があると、あー懐かしい、まだ俺のうちにはあるよ・・・。

立ち止まりが多く、先に進まず、最後は「高橋是清邸」、明治から昭和のはじめ国

政を担った人物。二階は一九三六年の二・二六事件の現場の建物である。また庭園の美しさが光る。予定した一時間を十五分延長しての見学でした。橋爪さんお世話になりました。

昼の食事懇親会に入り、話題は台風十九号を含めて災害の話が中心で、町はどうなのか、三ツ井で道路が不通、崖が崩れたところもあるよ・・・。一九五九年(昭和三十四年)九月二十六日の伊勢湾台風まで話題は進む。

今回は室内に靴を脱ぎ見学をしませんでした。ぜひ次回はゆつくりと内部を拝見したいとの声が続々。多くの外国人が見学されていた。全国陶器市も開催されており、後ろ髪を引かれる思いで、予定の時間を三十分ほどオーバーして帰路に・・・。

大竹力夫さんのお孫さん・工藤葉介君来年もお越しください歓迎いたします。

帰りはバスを利用して駅まで。二次会は高田馬場にて「磯丸水産」で二時間、懇談を持ちました。皆様お世話になりました。

◆一口メモ

都立小金井公園

開園：一九五四年(昭和二十九年)一月

面積：八十万二千三百四十一、〇五㎡
桜の名所：山桜・ソメイヨシノ・サト

ザクラなど50種類、約千七百本



在京下郷会 R1 年 秋の親睦ハイキング 都立小金井公園 いこいの広場 R1.11.09

会員サロン



観光客目線に立った

生活・衛生インフラの整備を

会員（倉水） 猪股 万治

明治、大正、昭和、平成、令和と年号も変わり、下郷町への観光客も全国津々浦々から訪れ、にぎわいをもたせているところではあります。世の中の変化と共に人間の営みも様変わりしているのが現実なのです。大内宿をはじめ、塔のへつり、観音沼、そして物産館、道の駅等での観光客の印象はどう受け止めているか検証すべきです。

まずは、人間も動物、食べれば出すのが摂理であります。小人数の旅ならどこでも気軽に食べることが出来ますが、多数の場合、（大型バス何台）の対応が、思うようにはいかず、大量受け入れ先に奪われてしまいます。その場の対応によって不愉快な気分にもなります。また、トイレにしても最近では洋式トイレに変えるところがほとんどで、今どき和式トイレは敬遠されて評判がよくありません。観光地や人の多く集まるところは下水道の整備と共に早めの対応を望みます。

気分よく旅行して、良き思い出を残し、また行つて見ようと思うことが今後の集客につながることを確信いたします。

マスクやメディア等で宣伝して頂いたことは非常に有難いことではあります。受け入れ側が相手に対して満足得られるよう、努力することが必要です。お客様というのは自由気ままなことがあつて気に入らなければ二度と来ません。また、以前にも申しましたが、田舎に住んでみようと思っている人は、世の中にいます。それには貸与する住居のリフォーム（キッチン、トイレ、風呂等）を先行投資して行い、相手が理解され、これなら住んでみようとなる様工夫すべきです。田舎も過疎化が進み人口減少傾向にあると思いますが、皆で知恵を出し合つて町の活性化に頑張りましょう。

役員に就任して

幹事（刘林） 渡部 佐吉

年号が令和に変わった初年度の第二十九回在京下郷会総会におきまして、幹事を仰せつかりました、姫川出身の渡部佐吉です、宜しくお願い致します。

私は、若商を卒業後、東京国税局管内の税務署及び国税局に四十年余り勤務しました。その間に、埼玉、千葉、山梨と転居しまして、今は千葉県に落ち着いています。現在は、税理士法人（本社は東京都港区）に所属税理士として勤務しております。

在京下郷会には、東宝撮影所や科学技術館等での開催、また、講演などで鈴木健二（元NHKアナウンサー）さんの講話を楽

しく拝聴できたことが思い出として残っています。

何故、このような素晴らしい場所で開催されていたのか、著名人をご招待して講演が出来たのか等、すごいことだなーと思つて参加させて頂いておりました。それ相応の費用が掛かつており、盛り上げてきてくださった先輩方や皆様方のご支援によるものであり、大変ありがたく思います。今後私も一助となれば幸いです。

在京下郷会が三十周年を迎えるに当たりまして記念誌を発刊されることですので、大変楽しみにしております。

その一方で参加している人は、若年者は少なく年配者ばかりでした。友人なども誘つてみましたが説明がうまくないことから、賛同いただけただけの方ではありません。心細く思つたのも事実です。

転居などもあり、疎遠になつていたところに、現幹事の芳賀清喜先輩と話す機会に恵まれ、在京下郷会の総会があることを知りまして、参加することとなったのがこの度の役員を仰せつかったことの始まりです。

芳賀先輩は、高校及び税務署の先輩でもありましたので、私も「東京若商会」の幹事も委嘱されております。共通の意識を持つて組織の活性化に向けて、取り組んで行きたいと考えております。

今回の総会の中ふるさと懇談会におきまして、「下郷町地域おこし協力隊による報告」がございました。内容は、「クラインガルテン下郷」の運営補助や「空き家を

活用した交流」等の活動報告でした。下郷町を活性化するための活動です。

これらが継続していついていただければと思ひました。下郷町がなくなつてしまつては、我々の活動もなくなつてしまいます。この協力隊との意見交換等を緊密にし、活動に協力していくことも生き残りに繋がるのではないかと思います。

「私の実家は、現在誰も住んでおりませんが、毎年何度か帰省しており、その度に空き家の有効活用ができないか、都市と地方を結ぶすが無いか等に思いを巡らしておりました。良い機会が頂けたと思ひ協力できるところは協力できればと思ひます。

皆様方と共に盛り上げていきたいと思つておりますのでどうぞ、よろしくお願ひ致します。

ふるさと納税に参加しよう

副会長（刘林） 高橋 千代丸

今回のふるさと懇談会では、在京下郷会の財政基盤の強化や町の教育基盤の強化のためにもふるさと納税の拡大が重要であることを確認し合つた。そこで、下郷町のふるさと納税へのアクセスサービスは、他の自治体と比べてどのような状態であるかを実際の納税手続きを通して体験してみた。現在ふるさと納税に参加している人は、二〇一八年で四百万人おり、そ

の多くはインターネットを利用してしている。まず、大部分が利用している「公式」ふるさと納税「チョイス」をクリックし、「自治体をさがす」から福島県下郷町を選択する。すると、この「この自治体はふるさとチョイスから申し込みできません。お手数ですが、自治体のホームページ等から申し込みください」とのメッセージが出てくる。そこで、下郷町ホームページから「くらし・手続き」→「町税」→「ふるさと納税」をクリックすると「返礼品」に辿り着くという仕組みになっている。

この体験での提案①として、下郷町出身者以外からも納税者を募るという観点から、納税へのアクセス手段として全国民が利用している「ふるさと納税チョイス」と連動させることをあげる。次に返礼品の選択、すなわち、納税額の選択では、寄付金額一円で「金子牧場ヨーグルト・ハチミツセット」等六件、二万円で「えごまセットと花まめパイ」の一件が出てくる。ちなみに、南会津町は六十八件、只見町は四十三件の返礼品が出てくる。一方、町では、広報紙を通じて広く町内に「返礼品の開発」の働きかけを行っていることは周知している。

そこで提案②として、「在京下郷会の会員及び役員」は、出来るだけ多くの関係者を募り、納税者の増加に貢献されることをあげたい。返礼品の販売が増加すれば、開発者が増加し、返礼品が増加するという

大スパイラルが期待できます。頑張りましょう。

編集だより

編集委員長

副会長(刈林) 高橋 千代丸

在京下郷会が、他の多くの在京親睦団体と比較し、特徴的に異なる点として、その事務所(事務局)が下郷町役場にあることが挙げられる。この構造的特徴の故に、在京下郷の集いでは、「ふるさと懇談会」を開催し、①在京会が、町の首都圏での展開にどのように関与したら良いのか、また、②会の財政的・勢力的な健全性をどのように維持して行ったら良いのかを継続的に話し合っている。

今回は、①に関して、過去二回意見交換を行ってきた「町の着地型観光推進事業」のフレッシュ年代による取組として、市村春絵氏と森田愛理氏による、「下郷町地域おこし協力隊」活動を紹介していただいた体験として、「まちやひとがひとつにつながり笑顔が循環していくことを目指したい」や「子供を生みやすいまち、住みやすいまちにしたい」を学んだ とのお話には感動を覚えた。このような若手発の真摯な思考が実現されなければ、少子化・活力低下には歯止めはかかりません。皆さん、応援しようではありませんか。

②に関しては、破産寸前の財政状態を改

善するための方向性について、芳賀公幹事長からのリアルなデータに基づく話題提供をベースに、建設的な意見交換を行った。対応策として、「下郷町のふるさと納税の拡大」と連動させた解決方法が現実的であり、これを鋭意検討するとの見解がまとまった。大変ありがたく厚くお礼申し上げます。左記の①、②とも、本文に詳しく掲載しております。ご参照ください。

本年は、在京下郷会の三十周年記念の年です。在京会として、記念事業や記念誌発行を計画しています。記念行事のプログラムは、詳細が固まり次第、逐次、「広報しもごう」への差し込みや「在京下郷会ホームページ」を通してお知らせします。ご参加かつご支援をお願いいたします。

編集委員会は、「在京下郷会だより」を通じて、下郷町と在京会員との協力・連携・一体感が醸成され、より一層未来に力強くつながることを願いつつ、多くの方々からのご寄稿による会員相互の有意義な交流

令和二年の行事予定

- 春の親睦ハイキング
- 令和二年四月四日(土)
- 場所 都立小金井公園
- 秋の親睦ハイキング
- 令和二年十月頃
- 場所 未定
- 第三十回記念在京下郷の集い
- 令和二年十月三十一日(土)
- 場所 ホテルラングウッド

親睦の実現を目指しています。引き続きのご寄稿を切に願います。引き続きの今年度の主な行事および記念事業の寄付のお願いを左記にご案内いたしました。

在京下郷会設立三十周年記念行事に伴う寄付のお願い

- ・在京下郷会三十周年記念誌の発刊
- ・下郷町への記念品贈呈
- ・三十周年記念「在京下郷の集い」企画の充実
- ・寄付金
- ・一口三千円 (何口でも可、詳細は後日(ご案内))
- ・在京下郷会だより」への広告の掲載
- ・企業広告 五千円(A4の八分の一サイズ)
- ・名刺広告 三千円(名刺サイズ)



総合建設業

埼玉建設株式会社

代表取締役 **湯田 嘉男**
(白岩出身)

埼玉県さいたま市見沼区字片柳
2丁目-104
TEL (048) 688-9306
携帯 090-3224-7223



設計・施工・店舗・住宅家具一式

ユンケル工芸株式会社

本社 121-0815 東京都足立区鳥根2-32-21-502
TEL・FAX: 03-3850-1354

工場 382-0123 栃木県栃木市川原田町1041-2
TEL: 0282-24-4831 FAX: 0282-24-4830

会津営業所 969-5204 南会津郡下郷町弥五島字仲ノ内365
TEL・FAX: 0241-67-2362



在京下郷会

<https://wakamatsu.co.jp/zaikyo/>

ホームページにようこそ!

